

と む ろ い し
戸室石だより

土塀の石垣のように、みんなで、暖かい病院を！ 発行：金沢医療センター編集委員会

院長に就任して

小島 靖彦

4月1日付けで、院長職を拝命致しました。医療を取り巻く環境の厳しい、そしてその改革に的確かつ速やかに対応することが要求される折り、責任の重さを痛感している次第ですが、金沢医療センターの一層の発展のため、また地域医療発展のため、最大限の努力を惜しまない覚悟でございますので宜しくお願い致します。

さて、当院はこれまで政策医療19分野のうち、9分野において「専門医療施設」として役割を担い、これを推進、また地域医療連携室の設置などで、地域の医療施設との密接な関係の推進を行って参りました。これらの方針を今後も継続し、さらに発展させて行くことが私に課せられた使命であると思っておりますが、その中でも特に「地域完結型の医療の推進」と「がん診療の充実」を当面の課題として取り組んでいきたいと考えています。

「地域完結型の医療」を推進するためには、状態や時期に応じて各医療機関が機能を分担しながら連携していくシステムをつくり出す必要があります。すなわち疾患の急性期の医療は当院で、病態が安定した時期の医療は、かかりつけ医で連続して受けて頂くシステムです。この一環として昨年10月に開放病床を開設、かかりつけ医と当院の主治医が共同で診療にあたっています。常に身近に、かかりつけ医が存在することは患者さんにとっては大変幸せな事であり、また安心感を与えるものでもあります。また連携パス(治療計画書)や症例検討会を通して、絶えずかかりつけ医と診療内容などの情報交換を致しますので、質の高い医療の提供・継続も可能であると信じております。当院はこのようなかかりつけ医を支援し、地域に必要な医療を確保する地域連携の中核となる病院を目指したいと考えています。

本年の1月に、当院はがん対策基本法の施行に伴い、「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。がん総合診療部の責任者としては、進行がん及び再発がんなどの難治性がんに対するこれまでの治療実績が認められたものとして、さらに一歩前進でき喜ばしい限りです。「地域がん診療連携拠点病院」としての責任を果たし、そしてこの信頼を維持するために、がんの標準的治療やセカンドオピニオンに関する情報などを扱うがん相談支援センター、通院で治療可能な外来治療センターの拡充、あるいは新しいがん治療法の開発など、さらに信頼度の高い医療体制の構築に積極的に取り組んで参りますので、どうぞご期待下さい。



ところで、私はこれまで「信頼される医療」の実践をテーマに掲げ、外科医として主に診療に従事して参りました。「信頼される医療」の実践でまず重要なことは「患者さんと良好な人間関係を構築する」こと、即ち「患者さんからの信頼」であると考えています。患者さんからの信頼があって、初めて提供された医療サービスに満足し納得していただけるものと思っています。また今、社会が求める「質の高い医療」、「安全性のある医療」の実践では、「チーム医療」は欠かすことのできない要素であり、「チーム医療」を支えるものは専門職種間相互の信頼関係と「コミュニケーション」であると確信しております。これらの基本的な意識を高く持ちながら、医療人として進歩する高度の医療技術に対応するために日々自己研鑽を積むことを問題意識とし、常に持ち続けるよう職員を指導していき対と考えています。

皆様におかれましても、何かお気付きの点ございましたら、遠慮なくご指摘くださいますよう、お願い申し上げます。

前院長のご挨拶



木田 寛

昭和62年4月、金沢大学第一内科を辞し、当院に赴任して以来20年になりました。振り返ってみますと、私が院長を務めたこの数年間の医療界は激動期にあり、当院単独の考え方では、地域医療の要望に応じることが困難になってきていました。そのような状況に鑑みた「心の繋がる医療」の提供と「癒しの空間」の形成に向けた医療環境の整備という、私の理念を曲げずに職務を全うできたのは、私の輪を共に支えて頂いた職員の皆さん・患者さん・周囲の医療機関の方々をはじめ、多くの方々のご協力、ご支援があったからであり、感謝の気持は言葉に尽くせません。

患者さんから、「看護師さんや職員の方々がとても親切で、気持ち良く入院生活を送れました」、「病院がきれいになりましたね」という言葉をお聴きし、心が熱くなりました。また、診療所の先生方から「医療センターの対応は良くなりましたね」との言葉に、これまでの努力が報われつつあることを知り、感激で胸がいっぱいになりました。

これからは、何かにつけ金沢医療センターを見守っていくことになりますが、これまで通り、職員の皆さんは一致協力し、地域の方々からのご協力・ご支援を頂けるように弛まぬ努力を重ねてください。楽しく、思い出の多い院長職を務めさせて頂きまして、本当にありがとうございました。

新医長紹介 呼吸器外科医長 太田 安彦

平成19年1月より金沢大学附属病院より着任致しました。私は学生時代に呼吸器外科医となることを立願し第1外科に入局したのですが、大学での研修は心臓外科と消化器外科に配属され、呼吸器外科は研修できませんでした。

その後約8年間、福井県立病院などで主に消化器外科を学ばせて頂く中、呼吸器外科への執着消えず、その都度近隣から先輩医師に指導をお願いし、呼吸器手術を細々こなす努力を続けておりました。大学院修業後の丁稚奉公が終わり、ようやく念願の呼吸器外科医としての本格的な取り組みを開始できたのは9年目であります。今年、医師として21年目という節目を向かえるわけですが、呼吸器外科にたどり着く回り道を振り返るに、多くの諸先輩医師や患者さんより賜った温情が有難く思い返されます。残りの医師としての半生は、微力ながら地域医療に徹した奉仕にあると考えております。これまで培った医術のすべてを患者さんに注ぎ尽くすことが、自問自答の中で自分なりに温情に報いる彼岸の道と考えるに至りました。マンパワーなど色々と厳しい状況にある呼吸器外科ではありますが、困難に挑戦し続けることになぜか喜びを感じる自分であります。よろしくご指導・ご支援ください。

新医長紹介 小児科医長 太田 和秀

平成19年4月1日付けで、金沢大学医学部附属病院から新しく小児科医長に赴任した太田和秀です。昭和59年4月に富山医科薬科大学(現:富山大学医学部)を卒業し金沢大学医学部小児科学教室に入局いたしました。

卒後3年目から小児科学教室の腎臓グループに入り、小児科一般診療はもちろんのこと小児腎臓病学をも専門として日々研鑽して参りました。これまでの臨床経験を活かして、小児科専門医として、また腎臓専門医・指導医として金沢医療センターの新たな小児科づくりに貢献してゆきたいと思っております。皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

新医長紹介 整形外科医長 池田 和夫

金沢大学附属病院から、この4月に整形外科医長として赴任しました。これまでの医長は、竹田外志先生、一前久芳先生、末吉泰信先生であり、私は四代目ということになります。大学では、手の外科・末梢神経外科・マイクロサージャリーを専門としてやってまいりました。

これまでの経験を生かしつつ、今後はより広範囲の整形外科疾患をカバーしていきたいと考えています。また、整形外科のホームページも新しく作り変えましたので、是非ご覧いただければと存じます。当科のキャッチフレーズは「元気澁瀾」とし、いつも明るい整形外科であるように引っ張っていくつもりです。地域医療に貢献できるように精一杯頑張るつもりですので、お気軽にご相談いただければ幸いです。

新しい治療法の導入；前立腺癌小線源治療

平成19年3月から前立腺癌に対する新しい治療法としてヨウ素125を用いた永久挿入密封小線源治療を導入しました。これは早期癌に対して開腹手術を行わずに根治的治療効果が得られる放射線治療の一種です。



小線源治療の特徴

1. 放射線障害がおこりにくい

チタン製カプセルに被われた小線源(大きさ;5×1mm)を前立腺全体に放射線が行き渡るようにコンピューターで計算された場所(前立腺組織内)に挿入します。その結果、皮膚への影響はなく、直腸や膀胱で放射線障害が発生する率も従来の外照射治療に比べてはるかに少なくなります。

2. 体への負担が少なく、入院・治療期間は短い

会陰部から前立腺に針を挿入し、線源を挿入しながら抜いてくるだけの操作ですから、出血量は手術に比べはるかに少なく輸血の必要はまずありません。入院期間は3泊4日で手術(3~4週間)に比べ非常に短縮されます。

3. 性機能が維持されやすく、尿失禁は起こりにくい

小線源治療では5年後に性機能が維持されている率は7~8割と報告されています。また、手術直後に必発する尿失禁に関しても本治療直後に起こることはまずありません。

(文責、泌尿器科・越田)

ロビーコンサートだより

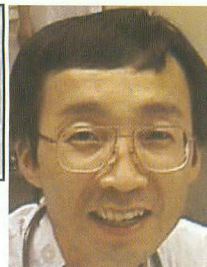


第14回ロビーコンサートは2月19日午後7時から薬局前で開催されました。今回は、金沢市のご出身でハンブルク(ドイツ)在住のフルート奏者、木下大祐さんをお招きしました。ピアノの尾島理英子さんとの息の合った演奏で、前半は「白鳥」や「アルルの女」などの名曲を爽やかに紹介され、続く「城ヶ島の雨」では、日本の旋律を情感豊かに表現され、聴衆は静かにフルートの音色に聴き入っていました。今回のもう一つの目玉は、この日のために編成した弦楽アンサンブルでした。メンバーには、もと金大フィルコンサートマスターで、やまぐち内科クリニックの山口泰志先生、チェロで賛助出演してくださった谷内朋子さん、今回初出演の荒館 宏(耳鼻咽喉科)に、若林祐佳(研修医)、山上直子(薬剤科)、越田 潔(泌尿器科)、瀧口哲也(耳鼻咽喉科)、伊勢拓之(内科)が加わり、モーツァルトのフルート協奏曲で開演前に聴衆とゲストを歓迎しました。さらに薬剤科の佐藤大介、山上直子、宮川慶子がポピュラー曲を披露し院内からも新しい顔ぶれが次々とデビューしています。最後のステージでは、再び木下さんがジュナン作曲ヴェニスへの謝肉祭を演奏されました。速いパッセージやオクターブの装飾音など技巧を要する部分も軽々と自然に演奏され、アンコールとして演奏されたロシアの作曲家キュイの愛らしい小品が終わるころには会場全体がとても幸せな気分を満たされていました。(伊勢)

ニッタ先生の神経百話（第13回）

おめでたいけど、手がしびれるのはなぜ？（しびれシリーズその3）

雪のない冬、春に降る雪、突然の大地震、日本も地球も壊れているんでしょうか、皆様。



当院で無事、元気な赤ちゃんをお産みになったKさん。おめでたいやうれしいやらで、笑顔満面のはずなのに、「少し前から手がしびれて困っているんですよ」と、あまり浮かない顔で神経内科を受診されました。担当の産婦人科の先生も心配されています。診察では、**親指**の力が少し弱くなっており、さわった感じや痛みの感覚も**親指**側で鈍くなっていました。

「頸の骨を痛めたことはありませんか？」。

「ないですねえ」。

「なるほど。では手の神経の検査をしましょう。それでわかると思いますよ」。

検査の結果、Kさんの手の神経の中で、正中神経という神経の障害が見つかったので、**手根管症候群**と診断がつけました。手の主な神経は3本ありますが、その真ん中の神経（＝正中神経）が、手根（＝手首）のトンネル（＝管）の中で圧迫を受け、手がしびれてくる病気です。ひどくなれば、神経への圧迫を取るために、手術が必要となる場合もあります。**原因**は、肥満、糖尿病、腎不全、甲状腺ホルモンや、手首の使いすぎ（パソコン、重いものを持つ）などがありますが、Kさんには異常ありませんでした。実は、**妊娠**が原因だったのです。妊娠により体に水分がたまり、体重が増え、神経を圧迫したのです。

出産後で不安のため、診察中に眼が潤んでいたKさんも、手のしびれの病気と、その原因がはっきりわかったので、安心されて赤ちゃんの待つ病室にもどられました。

「女性は妊娠・出産で、体にいろいろなことが起こり、本当にたいへんだねえ」

「ぢあ？、あなたも家事と育児を今日からよろしくね？」

（う??む、母は強し、女はもっと強し）

がん診療連携拠点病院の指定を受けて

がん総合診療部門 齋藤泰雄、小島靖彦

この度、当院は「がん診療連携拠点病院」に指定されました。これは、全国どこでも質の高いがん医療を受けられるようにするとの国の方針に基づくもので、県内では金大附属病院、金沢医科大学病院、石川県立中央病院、小松市民病院が同時に指定されました。


当院では、これまで総合病院の特徴を生かして、手術・化学療法・放射線療法などの各専門医が「がん総合診療」に取り組んでまいりましたが、これを機会に一層緊密なチーム医療を築き、地域の皆様に信頼されるがん医療を行いたいと考えています。その手始めとして、3泊4日の入院で治療が終わる画期的な前立腺癌小線源治療を開始しています。

なお、この指定により、精度の高い「がん登録」が義務付けられました。個人情報保護を図りながら実施してまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りたく、この場をお借りしてお願い申し上げます。

検査相談窓口の開設

1階外来の採血室に検査相談窓口を設けました。検査内容や検査結果について疑問がありましたら、お気軽にご相談ください。

体の中のいろいろなものが測定されて、多くの情報が診断と治療に利用されています。「病気の診断、治療方針の決定、経過観察、治癒判定」などに検査は利用されます。検査のすべてを把握することは容易ではありませんが、患者様にご納得頂けるよう、臨床検査専門の医師と技師が説明します。主として検体検査(血液や尿、便など)について、検査内容や結果の理解を助け、主治医とのお話が円滑に進められるようお手伝いをします。メタボリック症候群や肝炎ウイルスの理解などのためにもご利用ください。



血液・尿などの
検査相談窓口

検査についての相談をお受けしています。
お気軽にお声をかけて下さい。

金沢医療センターの理念

【理念】

私たちは、生命の尊さと人権を尊重し、高度で最良の医療をめざします。

【基本方針】

- 一、説明と同意に基づく信頼される医療をめざします。
- 一、 床研究を行い、医学の進歩に貢献することをめざします。
- 一、 病診連携を密にして、地域医療に貢献することをめざします。

「病気の話シリーズ」なっとくのいく話

今後の予定

場所：当院地域医療研修センター

- | | | |
|------|--|-------------|
| 第38回 | よくわかるメタボリック症候群
～腹部肥満は万病のもと～
5月17日(木)午後3時から | 内科 長岡 匡 |
| 第39回 | なっとくのいく手荒い
～食中毒を防ごう～
6月21日(木)午後3時から | 看護部 西原 寿代 |
| 第40回 | 家庭血圧の勧め
～高血圧治療にひそむ3つの落とし穴～
7月19日(木)午後3時から | 内科 伊勢 拓之 |
| 第41回 | 選べる肺がん外科治療
8月16日(木)午後3時から | 呼吸器外科 太田 安彦 |

外来担当医一覧表

平成19年5月

診療科目	診療時間	【初診受付時間】午前8時30分～11時30分					備 考
		月	火	水	木	金	
内 科	初 診	吉 村	吉 尾／北	周 藤	長 岡	伊 勢	火曜日：初診は隔週交代です
	初診（消化器）	太田(肇)	高 田	松 田	田 中	丸 川	糖尿病教室：第1～第4水曜日（14:00～15:00）
	内分泌・代謝①	能 登	長 岡	能 登・林	乙 田	長 岡	高血圧教室：第2水曜日（15:30～16:30）
	内分泌・代謝②		（能 登）	乙 田			
	腎・膠原病	伊 勢	伊 勢	木 田・遠山	吉 村	吉 村	
	血 液	吉 尾			周 藤	吉 尾	
	呼 吸 器	北	曾 根	北	廣瀬	廣瀬	禁煙外来：5月1・8・15・22・29日（火）（14:00～15:00）要予約
	消 化 器 ①	森 本	太田(肇)	森 本	太田(肇)	森 本・林 武	
消 化 器 ②	松 田	田 中	丸 川	松 田	高 田		
精 神 科		坂 井	小 室	杉 盛	小 室	坂 井	
神 経 内 科		新 田	坂 尻	新 田	坂 尻	新 田	火：物忘れ外来（午前・要予約）
							水：頭痛外来（午前）
							金：ふるえ外来（午前）
循 環 器 科	一 診	佐 伯	中 村	阪 上	中 村	中 村	初診（毎日）
	二 診	大 倉	阪 上	花 岡	阪 上	大倉/花岡	金曜日二診は、一週交代です。
	三 診		佐 伯		佐 伯	当番医	
小 児 科	一 診	太 田(和)	脇 坂	太 田(和)	酒 詰	太 田(和)	予防接種：火・木曜日の15:00～16:00
	二 診					齊 藤	
	専 門 外 来			内分泌・西田	小児神経・脇坂	循環器・酒詰	
	午後予約外来	慢性疾患	1ヶ月健診・発達	腎 臓 太 田(和)	乳幼児健診・発達	循環器 酒 詰	午後の予約診療時間 月、水15:00～16:30・火、木13:30～16:00
	午後予約外来		小児神経 脇 坂	内分 西 田	慢性疾患 酒詰/脇坂		
外 科	一 診	桐 山	（当番医）	桐 山	（当番医）	桐 山	
	二 診	竹 川		竹 川		竹 川	
	三 診	黒 阪		黒 阪			
	五 診			小 島			
	六 診	初診(藤本)	初診 藤 本	初診 新 村			
	七 診	道 輪	（手術日）	（手術日）	道 輪		
	乳 腺 外 来	道 輪		桐 山		竹 川	
整 形 外 科	初 診	初診のみ	納 村	初診のみ	藤 卷	初診のみ	
	再 診	（当番医）	池 田	（当番医）	池 田	（当番医）	
	再 診		藤 卷		納 村		
	再 診	（手術日）	田 中	（手術日）	太 田	（手術日）	
脳 神 経 外 科	一 診	池 田	池 田	当番医	池 田	正 印	月、水、金曜日：手術日
	二 診	赤 池	正印/赤池	（手術日）	正 印	赤 池	火曜日二診は、一週交代です。（10:00～） 木（14:00～）パーキンソン病外来（要予約）
呼 吸 器 外 科		太田(安)	（手術日）	太田(安)	（手術日）	太田(安)	
心 臓 血 管 外 科	一 診	佐々木	遠 藤	佐々木	遠 藤	佐々木	月、水、金曜日：手術日
	二 診		川 上		松 本		
	三 診	（手術日）	松 本	（手術日）	笠 島	（手術日）	
皮 膚 科	初 診 / 再 診	稲 沖	西 島	稲 沖	稲 沖	西 島	乾癬外来：木曜日（13:30～15:30）
	再 診	西 島	稲 沖	熊 田	西 島	熊 田	
	再 診		熊 田		熊 田		
泌 尿 器 科	一 診	越 田	越 田	越 田	石 浦	越 田	ED外来：第2・4木曜日 14:30～
	二 診	武 田	武 田	石 浦	武 田	石 浦	ストマー外来：第2水曜日 13:30～
		（手術日）		（手術日）		（手術日）	月、水、金曜日：手術日
産 婦 人 科	一 診	丹 後	瀬 戸	丹 後	金 谷	瀬 戸	妊産婦健診：午前（月～金）及び
	二 診	金 谷	当番医	瀬 戸	当番医	金 谷	月・水・金曜日午後（15:00～17:00）
	三 診	瀬 戸	（手術日）	金 谷	（手術日）	丹 後	火、木曜日：手術日
眼 科	一 診	佐 伯	佐 伯	佐 伯	佐 伯	佐 伯	午後：乳房外来（要予約）
	二 診	当番医	当番医		当番医		火・木曜日：手術日
耳 鼻 咽 喉 科	一 診	瀧 口	瀧 口	瀧 口	瀧 口	瀧 口	いびき：火曜日（14:00～15:00）
	二 診	荒 館	荒 館	荒 館	荒 館	荒 館	めまい：火、木曜日（15:00～16:00） 月、水、金曜日：手術日
放 射 線 科	一 診	齋 藤	多 田		多 田	齋 藤	照射の依頼：毎日可
	（超 音 波）	俵 原	多田・小林	大久保・小林	多田・大久保	俵 原	
歯 科 口 腔 外 科	初 診 / 再 診	中 尾	（当番医） （手術日）	能 崎	初診のみ	能 崎	火、木曜日：手術日
	再 診	能 崎		中 尾	（当番医）	中 尾	
	再 診	結 城		結 城	（手術日）	結 城	
	再 診	達 村		達 村		達 村	
麻 酔 科	一 診	岸 槌	岸 槌		岸 槌	岸 槌	ペインクリニック、術前診察：午前中
	二 診	横 山	野 竹			太田(敏)	

※ 特殊外来及び午後外来は、予約が必要です。なお、急患については、終日受付します。
担当医は都合により変更となる場合がありますのでご了承願います。

2007年能登半島地震



3月25日9時42分救急外来で勤務していた私は、今までに経験したことのない、揺れを感じました。その震源が能登半島沖と知り、どのような被害状況なのか、想像さえできませんでした。私は日本DMAT（災害派遣医療チーム）隊員であり、外来勤務の途中から、同じ国立病院機構の七尾病院への派遣が決定し、13時に出勤しました。幸い、七尾病院では、暖房を病棟に送る配管のずれがあったこと以外は大きな被害は見られず、まず一安心でした。更に、二次災害や余震による被災者の拡大が心配されましたが、DMATとしては実働することなく同日夜に金沢に戻ってきました。

翌日、市立輪島病院の看護職員が自らも被災しながら、勤務を続けていることを聞き、看護協会からの依頼で27日から29日までの三日間、看護業務の応援に行きました。輪島病院では、外来の診療の補助や処置室での採血や点滴、病棟での清潔ケアなどを行い、夜間の救急対応も行いました。患者さまの中には、地震の際に、火傷を負い、毎日ガーゼ交換に来られる方、地震の後片付けをしているときに、さらに余震で物が落下し、骨折をされた方がおられ、治療などにあたりました。また、その後も続く余震に不安で眠れないなど、被災された患者さまと、地震当時の恐怖や現在の自宅の状況や思いなどをお聞きする機会が多くありました。なかには、涙ながらに話され、ただ聞くことしかできないことに無力さを感じた場面もありました。

今後も災害が発生したときには、今回のように被災地に派遣され、災害現場や避難所・救護所での活動にあたることと思います。また、近隣で多数傷病者が発生した場合には当院にも多くの患者さまが運ばれてきます。災害は予測できない事態ですが、災害拠点病院に勤務する医療従事者として、日頃より災害への備え、防災訓練などを行い、災害時に的確に活動できるような知識と技術を積み重ねていくことも必要であると感じました。

（服部 佳永子）

編集後期：

春の兼六園にはいかれましてか？『戸室石だより』第32号が発行される頃には、もっと暖かくなり若葉が鮮やかになっているでしょう。過ごしやすい季節ですね。散策をしてみたいでしょうか。

今後も皆様に愛される紙面作りに励みたいと考えています。ご支援とご助言をお願いいたします。（Y.O.）

発行元：金沢医療センター（〒920-8650 石川県金沢市下石引町1番1号）

電話：076-262-4161（18時以降の救急受付；076-262-4163）、FAX：076-222-2758

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~knzwhosp/> Eメール admin@kanazawa.hosp.go.jp

地域医療連携室（直通番号 076-262-4187、専用FAX 076-262-4188）